鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 8 月定例会

2 開 催 日 時

平成 30 年 8 月 8 日（水）9 時 00 分開会 9 時 53 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 1 委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

天野教育長、古澤委員、吉原委員、戸田委員、副田委員

6 出席事務局職員

白水教育次長、江寄教育総務課長、平川学校教育課長、山津生涯学習課長兼図書館長、中島学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事、古賀学校教育課参事兼教育相談係長兼指導主事、竹下生涯学習課参事、立石学校教育課長補佐兼学校教育係長、原学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長、八尋生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、眞子教育総務課総務係長、久山生涯学習課文化財係長、栗山生涯学習課図書係長

7 傍 聴

5 人

8 経 過 報 告

7 月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

7 月定例会の議事録承認

【承認】

10 議事及び審議結果

議案第 11 号 平成 29 年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価について 【承認】

議案第 12 号 平成 31 年度以降に使用する小学校教科用図書の採択について

【承認】

議案第 13 号 平成 31 年度以降に使用する中学校道徳教科用図書の採択について

て

【承認】

11 協議報告事項

(1) 教職員の措置について

12 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次回会議予定

教育委員会 9 月定例会

平成 30 年 9 月 12 日（水）8 時 30 分から

○天野教育長

皆さんおはようございます。非常に酷暑の夏ということで、今日も鳥栖市は34度ぐらいあるということでしたけど、そういうふうな今朝の新聞を見ておりましたら、文科省の方から都道府県教委に暑さ対策ということで夏休みの延長ということを要請したというふうな報告が載っておりました。そうした中ですが、今日からやまびこ対馬研修団がですね、2泊3日でスタートということで、八尋補佐の方もそれで対応して行っております。それからですねもう一つ、今日から実は鳥栖小学校の方がですね、学校安全総合支援事業の一環ということで1泊2日で熊本地震後の報告をということで18名の6年生の子どもたちが行っております。非常に暑い中ですが、子どもたちいろいろな面で活躍しております。今回も自転車に、バレーに、それから陸上の方もですね、たくさんの市長表敬訪問もありまして本当にいろんな面で頑張ってますし、自転車の方は実はですね、鳥栖小学校は今日全国大会がありまして、去年は連続7位だったということで結果も楽しみにしている状況です。

早いもので夏休みも後20日ぐらいということになりましたけども、今のところでですね、事故とか怪我とか交通事故とかの報告もあっていない状況で、中体連の時に1件、西中は野球の県の中体連で優勝したんですけども、ピッチャーの子が熱中症で具合が悪くなったということであつたんですけど、その後はもう元気にしているようで、大きな熱中症の報告もあってないということでまだまだ暑い日が続く、そういう文科省の通達があるんですけどどうちは27日から夏休みが終わりまして2学期がスタートするということですのでございますけれども、何もないことを願っていきたいというふうに思っております。

それではただいまより、教育委員会8月の定例会をスタートします。では最初に経過報告をお願いします。はい、江寄課長。

○江寄教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。経過報告につきまして、委員の皆様から御質問等何かありましたら。はい、吉原委員。

○吉原委員

はい。夏休みのですね、放課後児童クラブなかよし会の利用状況が分かれば教えてほしいと思います。

○天野教育長

はい、山津課長。

○山津生涯学習課長兼図書館長

すいません。ちょっと資料を持ってきておりませんので、すぐ持ってまいりますので、それからの回答でよろしいでしょうか。

○天野教育長

はい、じゃあ他にはいいですかね。それでは、議事録承認にいきます。議事録につきましては別冊になっておりますけれども、まとめていただいておりますので、何かまたありましたら御報告の方お願いしたいというふうに思いますが、御承認いただいておりますでしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは、議事に移ります。今回の議事は議案が三つありまして、最初は議案第11号平成29年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価について、事務局の方お願いします。はい、江寄課長。

○江壽教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。点検評価ということでしっかり二人の外部評価の委員さんが見て、これだけのことを評価していただいているということで、非常に貴重な御意見もたくさんいただいております。委員の皆様方から御質問とか御意見、この考えに対してはとにかいろいろあると思いますが、よろしく申し上げます。はい。副田委員。

○副田委員

7ページです。人権同和教育というところですが、この7ページの人権同和教育の1行目に、学校教育や社会教育との連携や市民協働、社会福祉との横の繋がりも大事と書いてありますが、ここで質問というよりも確認をさせてください。ちなみにその社会福祉協議会に手芸が上手な方たちのエプロンシアターや、図書館活動で使えるようなものがたくさん眠っているということをお聞きしました。それを御存じなくて、ほとんど活用されていないということなんですね。ですからここに横の繋がりと書いてありますので、これは先ほど申し上げましたように確認なんです、社会福祉協議会にはこのようなエプロンシアターや手づくりの布絵本などがあるので、図書館でそれを御希望なさる方がいらっしゃれば社会福祉協議会にはこのようなものがありますよということが、きちんと相互に連絡が取り合えているかどうか確認させてください。いかがでしょうか。

○天野教育長

はい、栗山係長。

○栗山生涯学習課図書係長

はい。ただいまの質問のところですけども、図書館としては社会福祉協議会がエプロンシアター等の資料を何点所有しているかまでは存じ上げておりません。ただ、利用者の方が図書館にそういうエプロンシアター、パネルシアター等お借りにならっしゃった際にお望みのものがなかったり、もしくは貸し出し中の時に案内をしている程度でございます。ただいま御指摘のように図書館としても、外部の組織であってもどこが何点ぐらい、どういうものを所有しているかっていうのは把握している必要があるかと思っておりますので、この分は持ち帰りまして、きちっと把握したいと思っております。そして利用者の方への案内をして、より多くの方がそういうものに触れるきっかけをつくってまいりたいと思っております。御意見ありがとうございます。

○副田委員

はい、ありがとうございます。では横の繋がりということでよろしく願いいたします。

○天野教育長

副田委員さんいいですかね。はい、他に。古澤委員。

○古澤委員

はい。報告書案の4ページの2です。御承知のとおり教育委員会制度が変わりまして、新しい教育委員会として鳥栖市もスタートして、1年以上経ったのかな。そういうふうに記憶しておりますけれども、指摘事項の中で各種取り組みが具体化する前段階での議論を重ねることが必要ではないかという意見に対して、右の方に回答されております。これは実際実行されていると思っておりますけれども、例えば施策によっては直前の定例会で提案して、この定例の教育委員会会議で議論して、

実施に当たっては議会、特に各種常任委員会で報告するだけでなく、大きな事業等については、前もって二つ三つぐらい前の段階から協議を重ねていく必要がある分もあるのではないかなというふうに思っております。そういうことを各課しっかりと念頭に置かれて事業を進めていただければと思っております。

○天野教育長

はい、江寄課長。

○江寄教育総務課長

貴重な御意見、ありがとうございます。確かに教育委員会といたしましても予算が伴う事業、それとソフト事業等々含めまして今もあるんですけども今後いろんな事業が出てくると思います。それにつきましては今御指摘いただきましたように、事前にこの委員会に諮りながら委員さんの同意を得た上で、事業の実施に取り組んでまいりたいと考えております。以上でございます。

○天野教育長

古澤委員いいですかね、はい。私の方から外部評価ということで、特に徳田先生は今年からということで非常に新鮮な目で見えていただいているなあと思いました。一つ先ほどからありましたけども、情報発信という分野でホームページ等も含めていろいろ考えていくべきところがあるんじゃないかなあということでこれだけ書いてありますけれども、情報発信の手だてとしてホームページであるとか便りを出すとか、いろんな場合が考えられるんですけど、それについて総務課の方で何かありましたらお願いします。江寄課長。

○江寄教育総務課長

はい、徳田先生の方から特に情報発信についての御意見、御指摘の方をいただいております。現在ホームページの方でその情報発信ということにつきましては、特段トップページに掲載するとかっていうようなことは現在のところ行っておりません。市の公式ホームページですので、トップページの方に全ての項目を掲載するというのは物理的な画面の制約等もございますので、なかなか教育委員会の項目をどんとトップページに載せるというようなことができない状況でございますけれども、現在注目情報あるいは新着情報といったいわゆるトピックスと言われるような情報については、市全体の方で掲載の方がなされております。そこに掲載するのか、それともトップページの方に今のWEB市長室とか、そういうアイコンを設けてそこから入って行って、次の段階でいろんな情報をまた発信するというようなやり方もございますので、トップページのほうにそういったのが可能であればですね、そういうアイコンを例えば教育委員会というような項目を設けて、そこから入っていったところで注目情報あるいは最新の情報あたりを発信していくというようなやり方もあるのかなというように、その分については今後検討させていただきたいというふうに思います。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。もう一点ですね、特に徳田先生の方が適応指導教室「みらい」の方に行かれて見学していただいたということもあってですね、これ読んでいくと非常に効果を上げているということは理解いただいたようですけども、今の状況について報告をお願いしたいというふうに思います。平川課長。

○平川学校教育課長

はい、それでは鳥栖市学校適応指導教室「みらい」の平成29年度の状況について御報告をさせていただきます。学校と保護者と本人も含めてでございますが、「みらい」での学習活動、あるいは少人数での指導が適切であろうということで、入級

届けを出した児童生徒が小学生で昨年5名、中学生で8名、これは年度当初といえますか年度末の現在でございます。年度途中から長期休業中後とかにも入級した子もおるかと思えます。合計13名でございます。そのうち、時々「みらい」の方に来ていたというのが小学生1名、中学生2名、合計3名、週に2回以上登校して通級していたというのが小学生4名、中学生は6名、合計で10名ということでございます。29年度末で30年度から学校復帰した児童生徒が小学生で4名、中学生で8名計12名でございます。しかしながら、この中には卒業していった子もおりますし、また、調子が悪くなった子もおろうかと思えます。現在、平成30年度現在では7月現在では、4、5人程度が「みらい」の方で学習活動を行っていたということでございます。それから、昨年度中学校3年生の生徒が1人おりましたが、この子は高校の方へ受験をして進学をして今頑張っているということです。それから、小学校6年生の子が1人おりましたが、この子につきましては県内の特別支援学校の中学部の方に進学したというふうに聞いておるところでございます。以上でございます。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。不登校対策ということですね、非常に佐賀県も鳥栖市も増えている状況があります。そういった中で適応指導教室が置かれたところで非常に重要なポジションを待っているというふうに思ってますけど、適応指導教室の目的がただ復帰させるためだけのものということじゃなくてですね、いろんな学習の機会を与えるじゃありませんけど、そういったことで考えて、実は先々週ちょっと用がありましたので「みらい」に行ったらですね、中学校3年生が2人勉強に来ていたんですよ。夏休みだから来なくていいんですけど、やっぱり中学校3年生になって受験もあるし勉強も気になるから来たというふうなことで一生懸命勉強してました。だから、そういった学習の場を与えてあげるといいますかそういった機会をですね、ただ復帰させるための施設ではないんだよというふうなことで、その辺も含めてしっかり充実させていかなきゃいけないということで徳田先生の御意見も非常に素晴らしいなということで考えていかなきゃいけないというふうに思っております。他に委員の皆様方、はい、古澤委員。

○古澤委員

はい。今教育長が言われたとおり、この不登校対策というのは大変ですけども、その子供さん、もしくは御家族の方も含めて一緒に、非常に影響を与えるわけですよ。大変だと思いますけれども、またそれと同じくらい大変な中にやりがいもおありになるのかなというふうに思ってます。特に、私もこういった部分に長年従事した経験がありますけれども、今少子化とは言われておりますが御兄弟がおられた場合、上のお子さんが不登校になったとき、その下の子供さんも不登校になる傾向が見られます。ですから1人だけではないという部分で、今教育長は学校に戻すだけじゃないというふうにおっしゃいました。確かにそれもそうですけれども、基本的にはトータルすると子供の生きる力をいろんな体験を通していかに身につけさせるか、そういったことが求められるんじゃないかなと思います。早目に対応して、気長に継続して取り組んでいくということが大事なかなというふうに思ってます。敬意を込めて、エールを送りたいと思ってます。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。ではいいですかね。ということで議案第11号鳥栖市教育委員会事務の点検評価についてということで、御承認いただくということでよろございますでしょうか。はい、ありがとうございます。

では、次に行きます。次に、議案第12号平成31年度以降に使用する小学校教科用図書の採択についてと、関連しておりますので議案13号と合わせて、平成31年度以降に使用する中学校道徳教科用図書の採択についてお願いします。はい、平川課長。

○平川学校教育課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。この採択の経過ということで、5月31日から8月6日までこれだけの経緯で研究部会、選定委員会、そして地区協議会という流れの中で精謐な環境のもとに行ってまいりましたが、以上のような結果になっております。小学校の場合は1年しか使わないということでありましたが、研究部会、選定委員会ともにしっかりやっていただきまして、しっかり報告をし選定したという状況になります。委員の皆様方から何か御質問とか御意見とかありましたらお願いいたします。具体的に特に中学校の教科用道徳についての採択理由を、今課長のほうから説明をいただきましたけども、せっかく教科書を持ってきてますので具体的に今に關するところだけ報告をお願いしたいというふうに思います。はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼教育相談係長兼指導主事

それでは、1年生の教科書の目次の部分を開いていただければと思います。この道徳が教科化された理由につきましては以前、小学校の部分でちょっとお話をさせていただいたかと思えます。それに則りまして、まずいじめっていうところは大きな課題として挙げられておりました。このいじめにつきまして先ほどユニットというふうにお話がありましたが、目次の最初のところ、いじめと向き合う青い四角があるかと思えます。この①、②、③ですね。これが組み合わせになっていて双方で考えてもらうっていうところで、いじめに対して非常に重点的に取り扱ってる教科書となっております。

それから現代的な課題につきましては、今現在情報モラルっていうところも協議会の中で話題になりました。この現代的な課題についてもやはり向き合ってもらって、特に中学生につきましては、スマートフォン等の所持についても周知のことかと思えますけれども、それにおけるトラブル等もございます。そういったところの内容につきましても、こちら丁寧に取り扱ってあるということでした。

話題の中で一つ挙げたのが、やはりいろんな現代的な課題についての対応もそうなんですが、中で取り扱っている教材がどうなのか。そういうところも重点的なところでした。日文におきましてはやはり丁寧さ、それから中で取り扱っている内容のすばらしさといえ、どこもすばらしいものではあるんですけども、中でも日文の方は子どもたちにとって、理解しやすい内容ではないかという意見がありました。今現在教育の中でも、授業のユニバーサルデザイン化というところがよく話題として上がってきます。そちらの方に示してありますように色分け、それから学習した漢字に対する振り仮名、こういったものはどの子にとっても読める、それから理解できるという観点からも大切という意見でした。

もう一つ、これは教科書とちょっと離れたところではございましたけれども、道徳ノート、こちら、やはり先ほどありましたように鳥栖市内も若い先生方が非常に多くおられます。昨日も教育課程の研修会中の評価っていうところで、いかにポートフォリオ等で残していくかということもございました。ここのノートにおきましては、ポートフォリオ的な記録として、また考え議論するっていうところで、特

に考えるというところで整理する、書いて整理するというところにおいても有効ではないかというところの御意見が出ております。トータルしてやはり日本文教出版が出されているこの教科書が最適ではないだろうかということに落ちついております。以上です。

○天野教育長

はい、ありがとうございました。今具体的に内容についても示していただきましたけども、いいでしょうか。そしたら実際に採択地区協議会の一員でありました古澤委員の方からコメントいただけたらと思います。

○古澤委員

はい、御報告をいたします。今教育長が言われたとおり、私も三神地区の教科用図書共同採択地区協議会の選定委員会の委員として、関わらせていただきました。今古賀参事から説明がありましたように、「特別の教科 道徳」の教科化。そういうふうになった経緯、背景等を抑えながら、いじめ問題、情報モラル、考え議論する道徳の推進、この大きな三つの観点から採択をしております。特に、何を教えるか、それから子供たちがどのように学ぶかということに重点がシフトされてきており、そういったことを考えながらよりそういうふうな授業、教育が実現可能な構成になっているかどうかというのをみんなで協議をしながら、非常に甲乙つけがたい状況でございましたけれども、子供たちの理解のしやすさ、また教える側の先生方の指導のしやすさ、そういったことも合わせて見極めながら、慎重に審議をさせていただきます選定採択をしたところでございます。以上でございます。

○天野教育長

はい、ありがとうございました。いいですかね他の委員さん。ということで議案 12 号 13 号ということで、31 年度以降に使います小学校の教科用図書採択、それから 31 年度以降使用します中学校道徳教科用図書採択ということで御承認いただいておりますでしょうか。それでは議事については終わります。

次に協議報告事項ですが、その前に今山津課長が戻ってまいりましたので、経過報告の点でお願いします。はい、山津課長。

○山津生涯学習課長兼図書館長

先ほどは失礼いたしました。なかよし会の夏休みの入会状況ですけれども、通常期の総数が 617 名に対しまして、長期の入会者数は勤労青少年ホームの 50 名を合わせまして 738 名となっております。それに伴い待機者数が通常期で 44 名ですけれども、長期につきましては学校での待機者数が 105 名、ホームでの待機者数が 57 名となっております。以上です。

○天野教育長

はい、吉原委員いいですかね。山津課長が戻ってまいりましたのでもう一つだけ、鳥栖市青少年問題協議会のことについて少し報告をお願いしたいというふうに思っていましたので、よろしくをお願いします。はい、山津課長。

○山津生涯学習課長兼図書館長

はい、8 月 1 日に平成 30 年度青少年問題協議会を開催しております。会議において、青少年問題等への各関係機関の取り組み、青少年育成事業について市内小中学校の取り組み状況、青少年育成市民会議の活動についての報告と鳥栖警察署管内における青少年非行の概要について報告を行い、質問意見等があり活発な議論が行われております。

その中で主な質問といたしましては、青少年市民活動における一家団らんの日、家庭の日ですけれども、これについて鳥栖市として何か活動をしているのか、活動

方法は児童経由で家庭に渡すのが一番のルートだと思うので、PTA連合会と連携して周知を図るのはどうかという質問に対しまして、青少年育成会議の構成団体、地区の青少年育成会地区会長会などの代表に周知しているが1日のノーテレビ・ノーゲームディと趣旨が似ているため調整が難しい。佐賀県では中学部活について一家団らんの日を県下一斉部活休養日としているのでそれに合わせて調整できたらと思う。先日の総合教育会議でもあったが、家庭の教育力を回復させないといろいろな教育効果が生まれないと感じている、というこれは市長の意見でしたけれども、そういう意見が出ております。

他に質問といたしまして、生徒児童の不登校の原因と学年別の原因はということですが、これに対しては、不登校の原因は一つではなく、小学校で多いのは友人関係や家庭関係、中学校ではこれに学業不振が加わるということです。また、学校としては義務教育の中でその子の教育に合わせて教育ができたかと考えている。併せて、家庭、学校、地域が連携してその子に関われば良いという校長先生の意見がございました。あと、フリースクールや子供の馴染める居場所をつくっているところを把握しているか、という質問に対しましては、公的な機関としては「みらい」がありますけれども、民間の情報を把握していないということです。

それと、田代大官町の交差点における交通指導で各学校の自転車通学が多いことや自転車のマナーなどについての意見が出ておまして、回答といたしまして、登校指導しているけれども挨拶をしない子が多い。学校としては学期に一度は職員と保護者で交通指導に立っているが十分ではないというふうには考えている。学校では習慣になるくらい繰り返し指導は続けている。学校では教育、家庭ではしつけ、地域では見守りをお願いしたい。無視されても、繰り返しの指導をお願いしたいという校長先生の意見がございました。

また、鳥栖警察署生活安全課長から鳥栖管内の犯罪発生及び詐欺事件検挙の事件についての説明があり、この報告に対しまして犯罪を犯した少年の背景には貧困があるのかというような質問がありましたけれども、これにつきましては貧困とは限らない、経済的に困っていない子のほうがむしろ多いと。個人の特性が大きい、複雑な家庭環境で愛情不足が原因ではないかというような意見が出ておりました。以上で終わります。

○天野教育長

はい、どうもありがとうございました。

それでは次に行きます。協議報告事項ということで、教職員の措置についてお願いします。はい、平川課長。

○平川学校教育課長

はい、それでは次第10ページをお開きください。教職員の措置について御報告をいたします。7月19日に教育長から措置をした職員が2名おります。1名は交通事故物損事故によるものでございます。これは昨年の12月、鳥栖市内の遊戯施設の駐車場に入ろうとして入り口を間違い、急に方向を変えようとしたときにその遊戯施設の看板の支柱に車の正面が衝突したものでございます。相手方、その支柱等には影響はございませんでしたが、本人が衝突したはずみで胸部をハンドルで打っているところです。現在は元気に仕事をしております。口頭訓告ということで教育長から措置をしております。

もう一つが小学校の講師の体罰事案であります。本年5月、家庭訪問に行く前に本人にも焦りがあったようでございますが、子どもたちが自分の指示を守っておらず、自分が目を離したすきに暴れていた児童3名に対して左頬を1回ずつ平手打ち

したものでございます。これについては、措置をする前も厳しく指導しております。校長にももちろん厳しく指導した上で、措置として文書訓告という措置を行っているものでございます。いずれもこの2件については県の教育委員会にも報告をしているところでございます。以上でございます。

○天野教育長

はい、どうもありがとうございました。委員の皆様方、何か御意見と御質問がありましたら、はい古澤委員。

○古澤委員

はい。対応されるまでの期間なんですけれども、特に鳥栖北の小学校の教諭の場合、昨年12月の出来事かなと思ってるんですけど、これが実際に対応が済んだのは一番下に記載してあるとおりでしょ。場面場面で報告とかいろいろあってかなと思いますけど、半年以上も経過するのかなと思ひまして。普通、スムーズにいつて1、2ヶ月くらいかな。本人としては早く忘れたいという部分もあるのかなって、軽易な場合ですね。相手もおられるような大きな交通事故なんかになると、もちろん厳重に調べていかなきゃいけないというのはあるんですけど、スピードアップできる分については、そうあった方がいいのではないかなと感じました。

○天野教育長

はい、平川課長。

○平川学校教育課長

委員御指摘のところも、もっともでございますが、これまでのこの措置のシステムにつきましては、事故があった場合は報告を文書で県の教育委員会の方に上げます。そして県の教育委員会の方から措置の程度につきましては指導、助言等がございます。それがこちらの方に届きましたのが7月6日付けの文書でございます。ただし、御指摘のようところは他からも意見が挙がっておりまして、今後はこういう措置につきましては市町の教育委員会の基準をつくりまして、それに合わせて措置を行う予定で、現在鳥栖市の基準を作成しているところでございます。それができますとそれに従って措置を行っていくこととなりますので、半年以上もかかるようなことは今後はないものと思っております。以上でございます。

○天野教育長

はい。そういうことで、ちょっと今度制度を変えようということですね、県の教職員課の方もやろうということ今年度からそういう対応になると思います。結局全て終わってしまってますね、いろいろな書類を出したりして最終的に示談まで済んで、これで終わりというところでやっという措置になるということで、やっぱり期間がかかるんですね。そしてうちの意見も聞きながら、こうなさいということで県の方から処分が決まるというようなことですので、もちろん懲戒等についてはもう少し早い時期であるんですけども、こういった交通事故についてはこれだけ遅れるんですけど、今後検討していきたいというふうに思っております。それでは次に、今後の予定をお願いします。江崎課長。

○江崎教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。今後の予定について何か。委員の皆様いいですかね。はい、それではこれもちまして、教育委員会8月定例会を終わります。皆さんお疲れ様でございました。